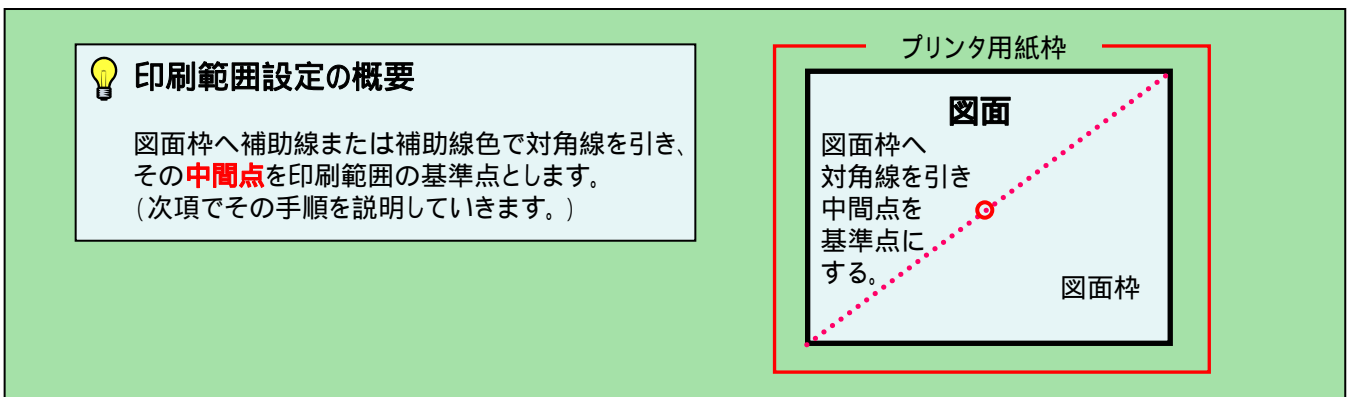
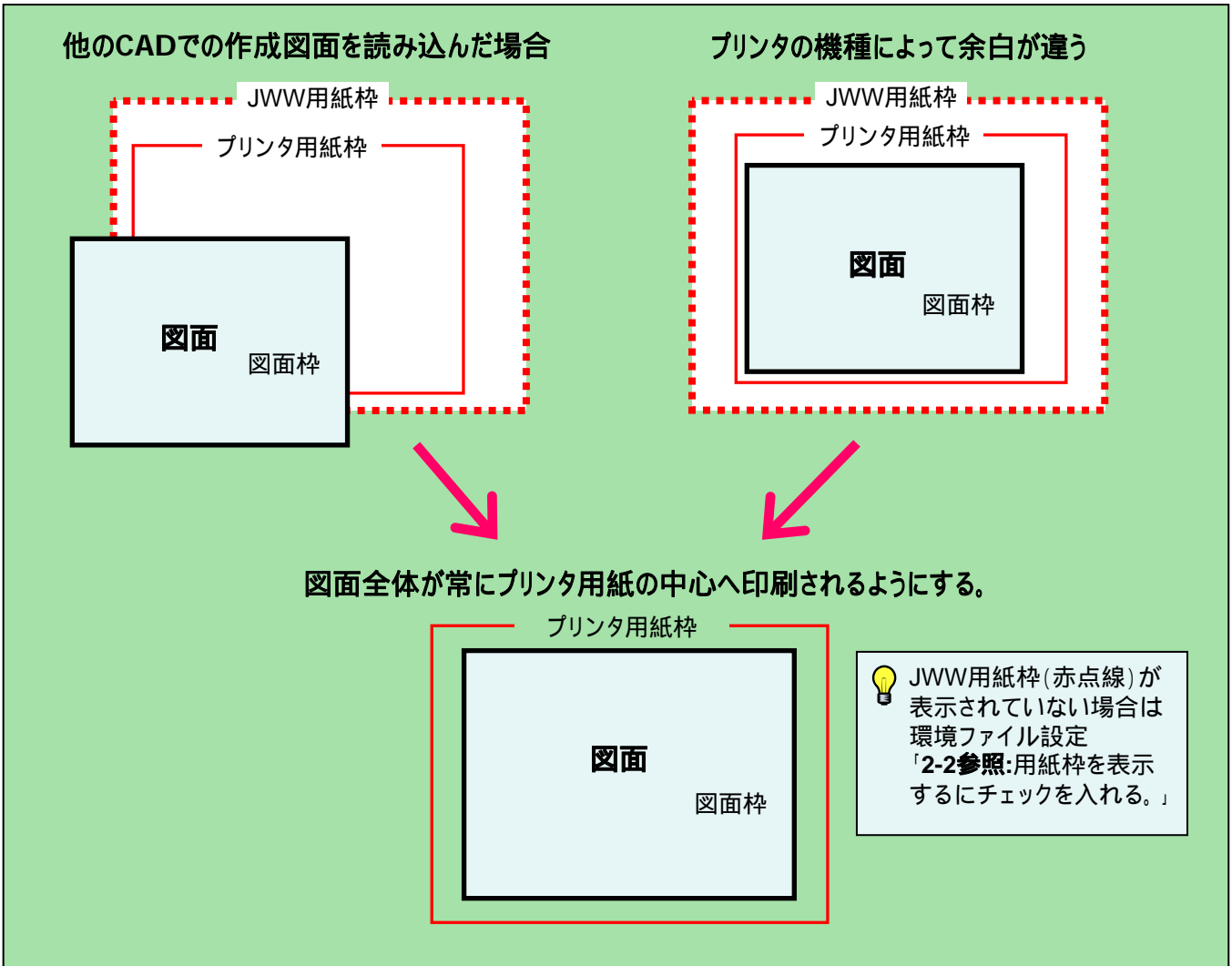


7. 印刷

ここでは図面の印刷(縮小印刷に限定)方法を見ていきましょう。
「(1-3)ツールバーを格納する」で設定した画面を使用しています。

始めに図面(図面枠)を用紙の中心に印刷するための準備方法(1例です)を説明していきます。

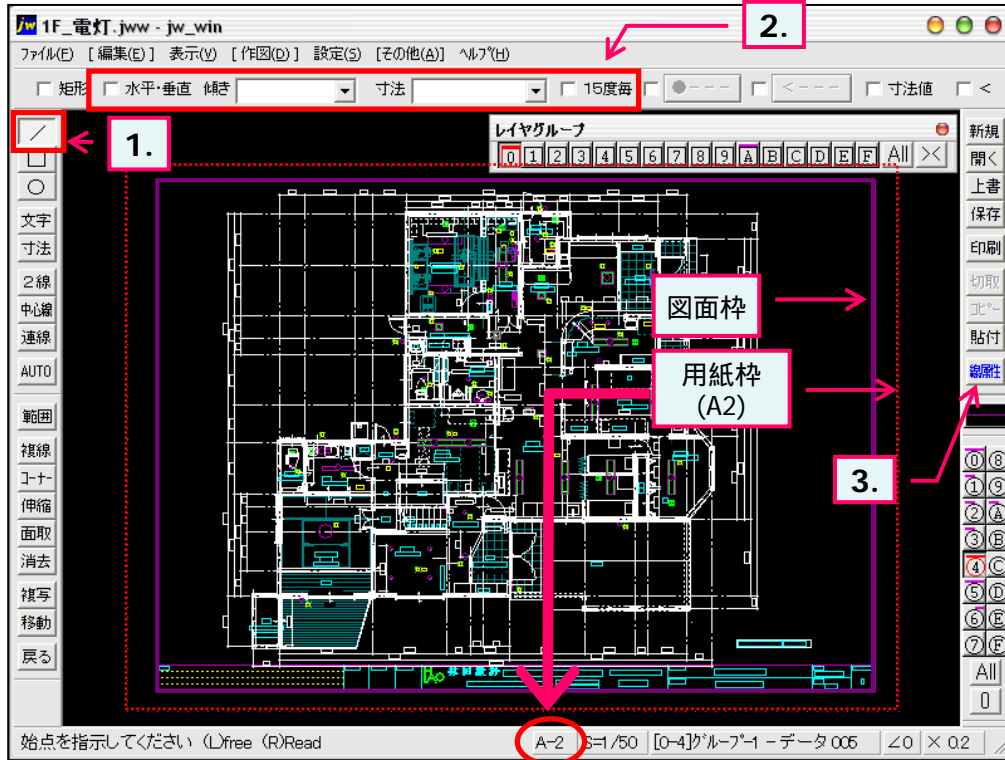
この準備は・・・たとえばDXF等、他のファイル形式を変換した場合JWW画面上の用紙枠からずれていることがあります。
また、プリンタ機種によって上下・左右の余白がまちまちですので印刷してみると図面全体が用紙に対して左に寄りすぎていたり、上余白が異常に多かったりする場合があります。
その場合でも用紙に対して均整の取れた等倍・縮小印刷ができるのではないかと思います。



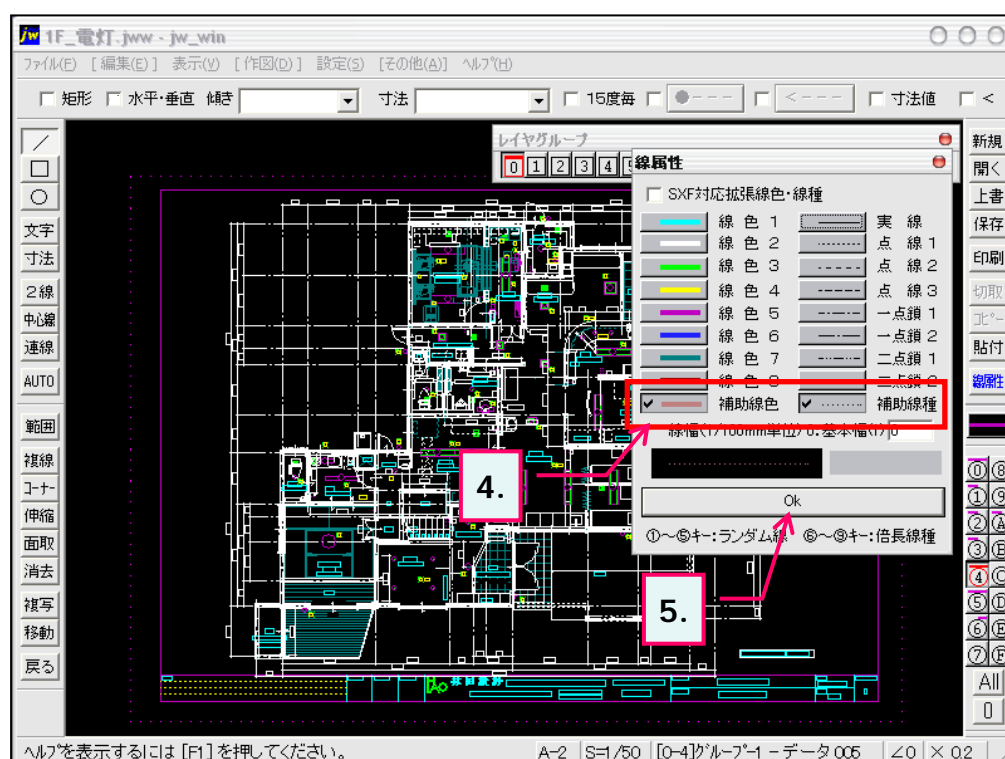
7-1(1). 印刷を行う前に-1

ここでは印刷範囲基準点用の対角線(補助線種にて)を引きます。

図面枠に対角線を引く前の準備をします。



- 3~3-1(2)「基本的な作図(線)」の手順に従って直線を引きます。
1. 「直線」ボタンをクリックします。
 2. 「水平・垂直」、「15度毎」のチェックを解除します。
 3. 線属性をボタンを押し、線種・線色を選択します。
(下図のように線属性ウィンドウが表示されます。)



4. 線種を補助線種、線色は任意でかまいません。作図状況に応じて管理しやすい色を選んでください。(図では補助線色を選択)
5. Okボタンで確定します。

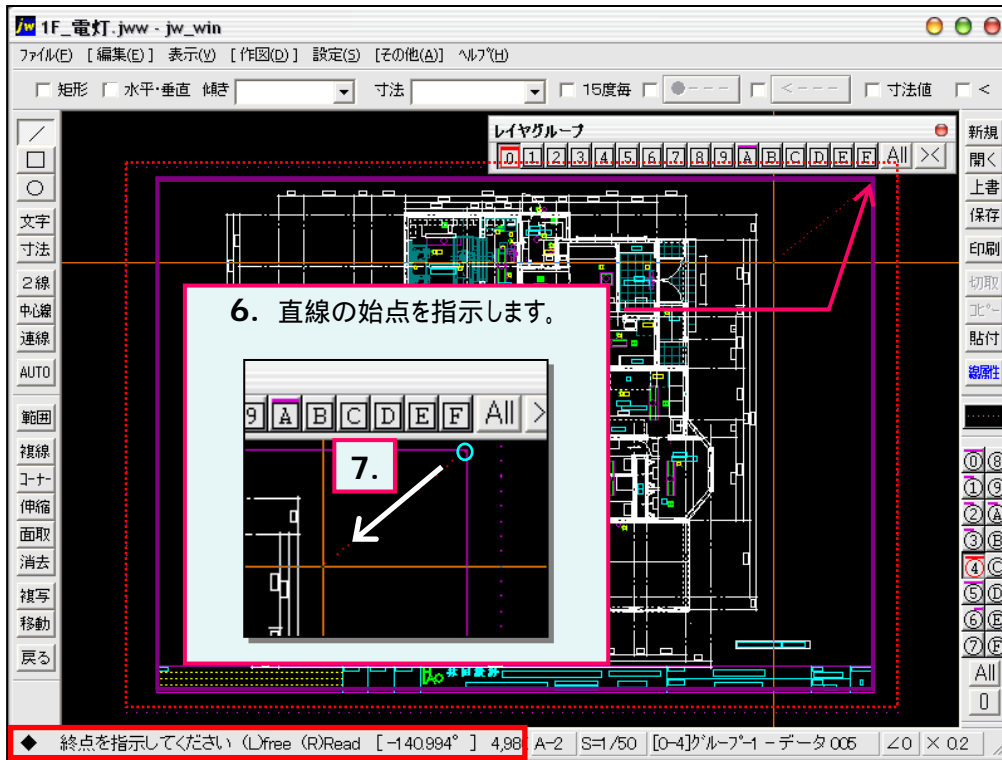
ヘルプを表示するには[F1]を押してください。

A-2 S=1/50 [0-4]グループ1 - データ 005 <0 X 0.2

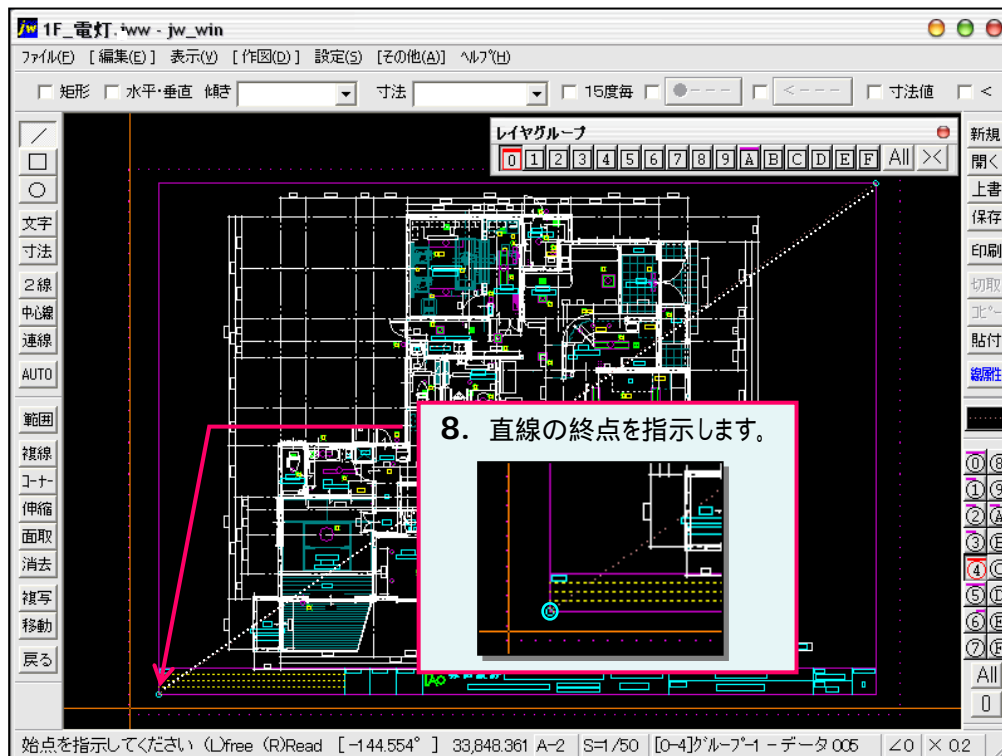
7-1(2). 印刷を行う前に-2

前項の続き(図面枠に対角線を引く)です。

図面枠に対角線を引きます。



6. 図面枠の右上端(左上端でもいいです)をマウス右ボタンクリックで直線の始点として指示します。



7. 図面枠対角線上の点へマウスを移動します。

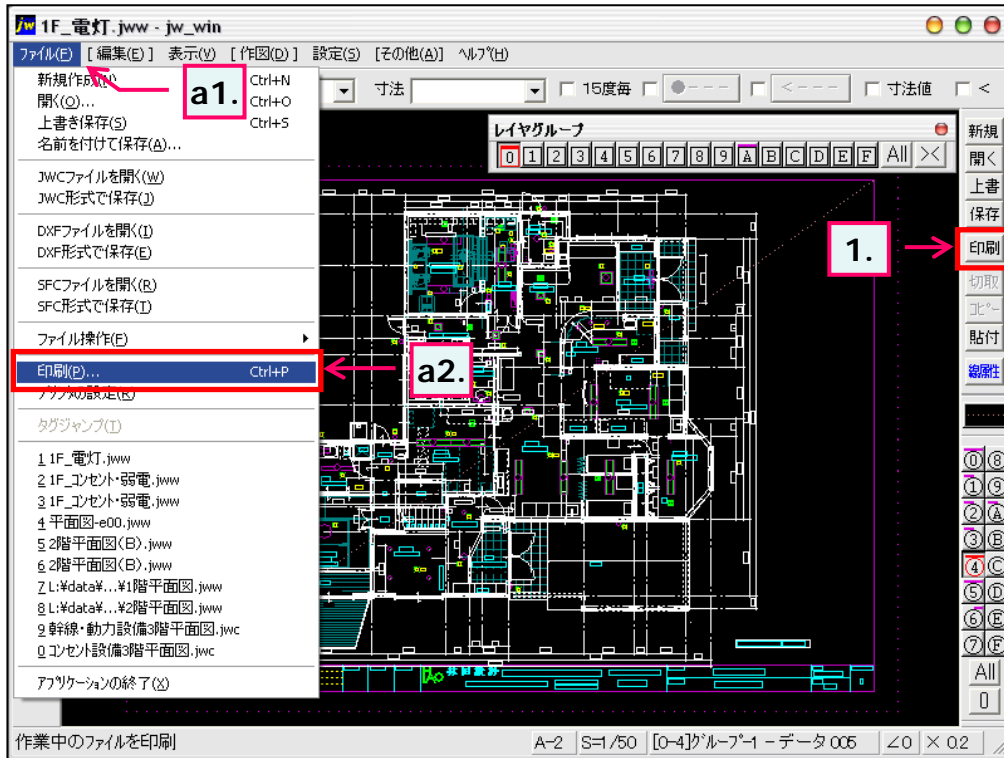
8. 図面枠の左下端(左上端を始点に選択した場合、右下端)をマウス右ボタンクリックで直線の終点として指示します。

図面枠に対角線(補助線種にて)を引くことができました。

7-2(1). 縮小印刷を行う-1(印刷の指示)

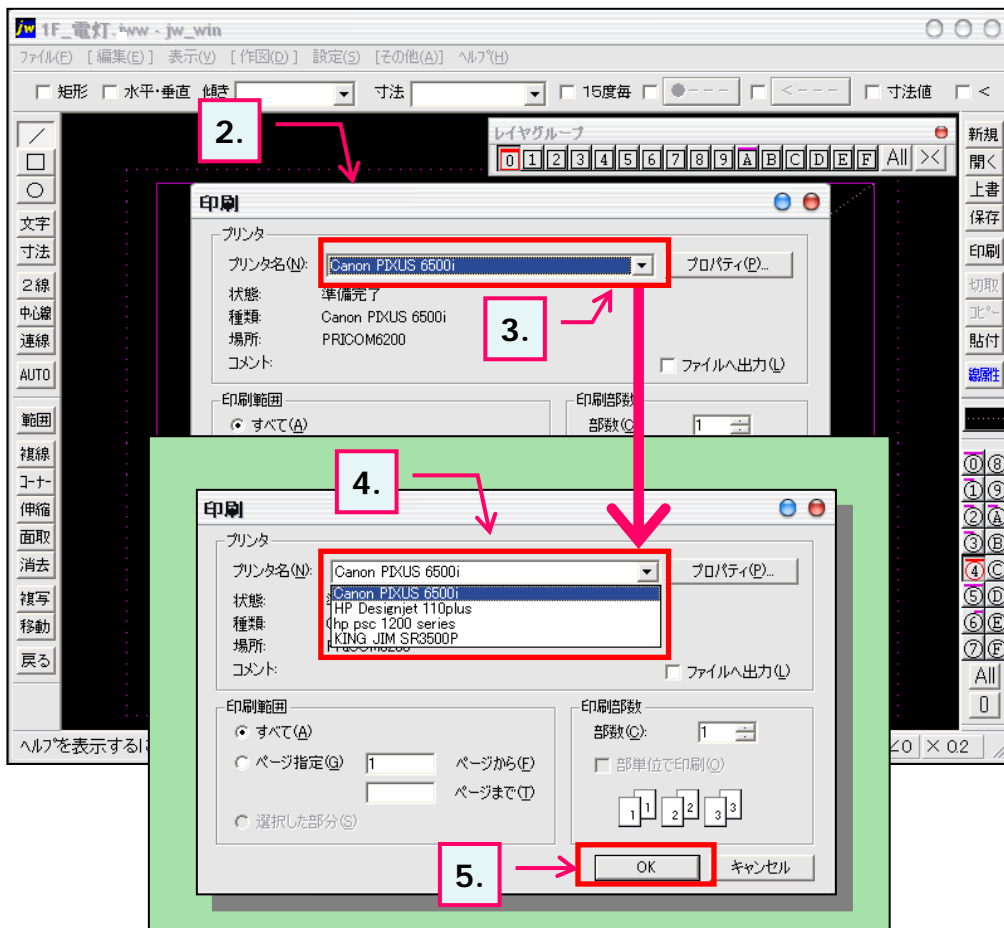
ここから印刷の手順を見ていきます。

印刷の指示と使用するプリンタを選択します。



1. ツールバー「メイン」中の「印刷」ボタンをクリックします。

💡 a1.メニュー「ファイル」
a2.印刷(P)の操作でも印刷の指示ができます。



2. 印刷(プリンタ選択)ウィンドウが表示されます。

3. プリンタ名(N)にはWindows上で「通常使うプリンタ」に設定されている機種が表示されます。変更する場合、右端のボタンをクリックします。

4. ご使用の環境下で印刷することができるプリンター一覧が表示されますので使用する機種を選択します。

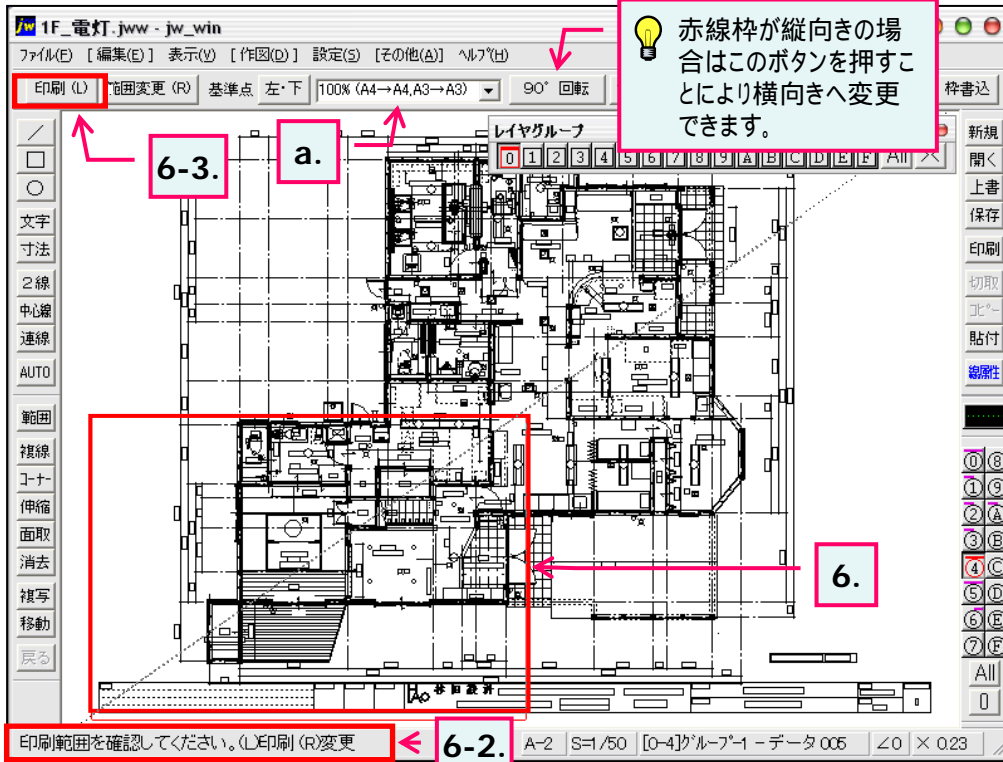
5. OKボタンで確定します。

次項へ続きます。

7-2(2). 縮小印刷を行う-2(用紙サイズの設定)

印刷する用紙のサイズを設定します。図面縮小 全図印刷

この図面はA2サイズで作成されていますが、A3サイズ用の紙へ縮小して全図を印刷してみましょう。



6. 左図のように印刷範囲が赤線枠で表示されています。

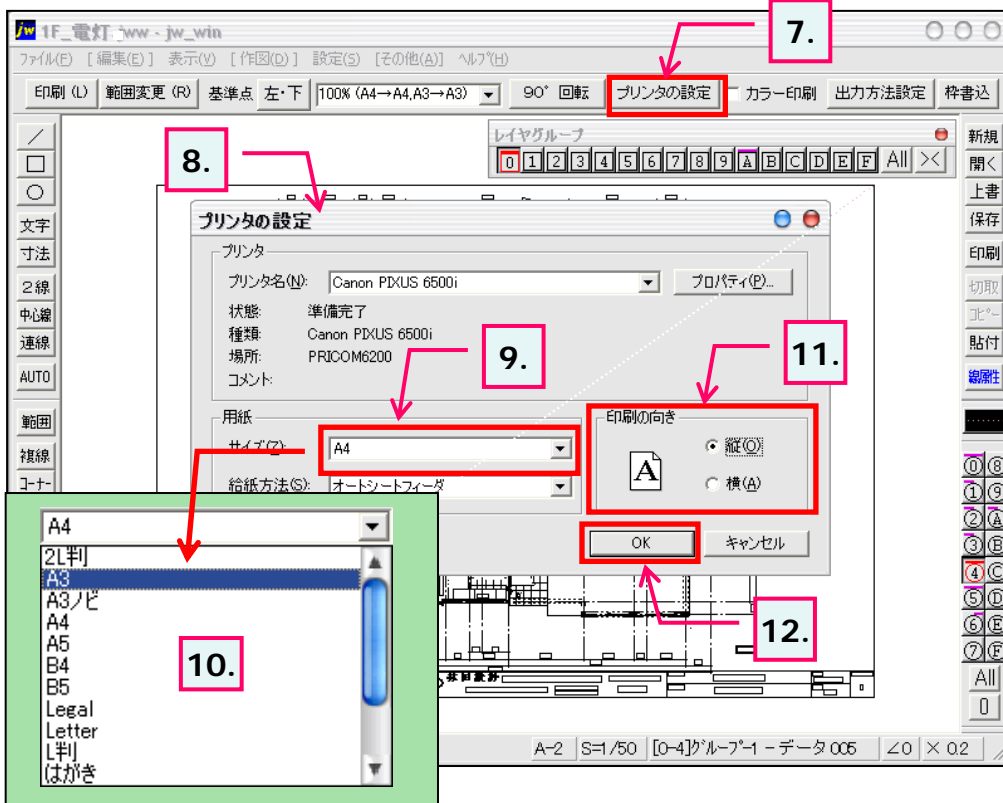
表示されている印刷範囲は選択したプリンタに初期設定されている用紙サイズの大きさ×a部に表示されている指定倍率です。
(左図は用紙:A4サイズ×倍率:100%)

縮小してA3サイズの用紙へ全図印刷する手順は7.へ続きます。

そのまま部分印刷する場合
6-2. ステータスバーに表示されているヒントを確認。

図面任意の場所でマウス左ボタンクリック:
(L)印刷 : 印刷開始
マウス右ボタンクリック:
(R)変更 : 印刷範囲の変更が行えます。
(赤枠を移動することができるようになります。)

印刷指示時の画面色が白になっていますがこれは環境ファイルで設定しています。
「2-1参照: プリント出力イメージの背景を白にするへチェックを入れる。」
(特にカラー印刷する場合等、印刷時のイメージをつかむことができます。)



6-3. 「印刷(L)」ボタンを押しても赤線枠で囲まれた範囲が部分印刷されます。

7. 「プリンタの設定」ボタンをクリックします。

8. 「プリンタの設定」ウインドウが表示されます。

9. 印刷したい用紙のサイズを選択します。

変更する場合、右端のボタンをクリックします。

10. 選択しているプリンタに対応した用紙サイズの一覧が表示されます。

ここではA3を選択します。

11. プリンタにセットする用紙の方向を確認します。

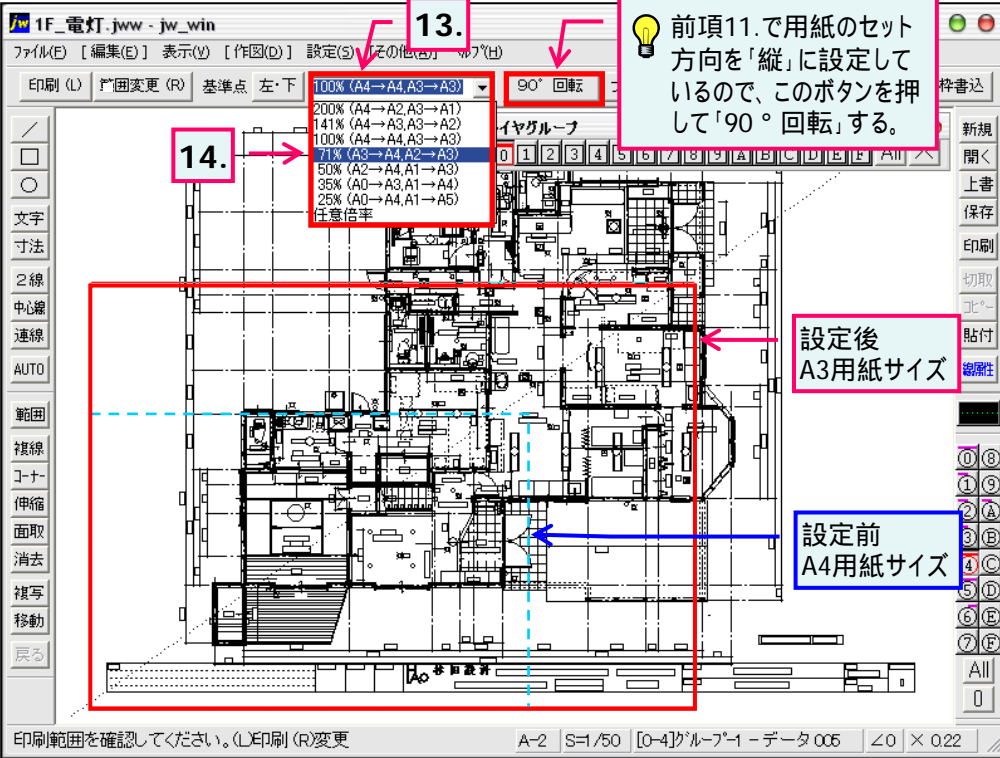
12. OKボタンで確定します。

次項へ続きます。

7-2(3). 縮小印刷を行う-3(印刷倍率の設定)

選択した用紙に全図印刷するための印刷倍率の設定・変更します。

印刷の指示と使用するプリンタを選択します。



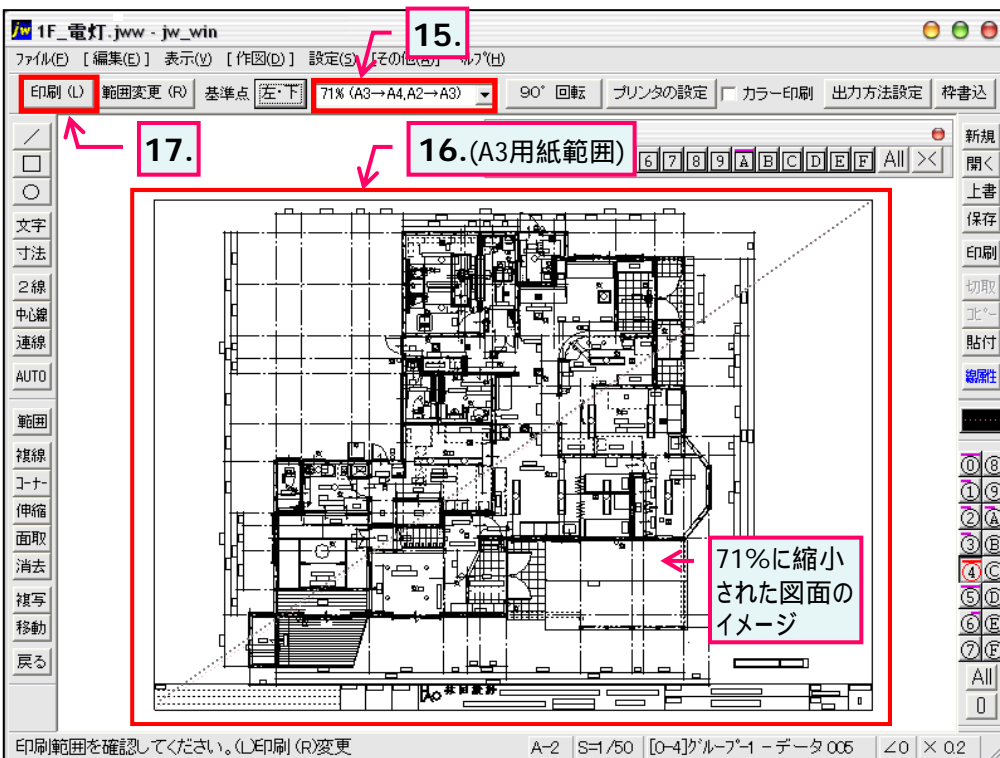
左図のように印刷用紙をA4からA3へ設定変更することによって印刷範囲が広くなりました。
A4(青線枠)からA3(赤線枠)

... 図面の元サイズがA2ですから、それでも全図印刷はできませんよ。

13. 印刷時の図面サイズの倍率を設定・変更します。(縮小) 右端の ボタンをクリックします。

14. 71%(A3 A4,A2 A3)を選択します。

💡 図面の元サイズがA1サイズの場合でA3サイズ用の紙へ全図印刷したいときは、50%(A2 A4, A1 A3)を選択します。



15. 印刷時の図面倍率が変更されました。

16. 印刷範囲に図面全体が納まるようになりました。

17. 図面上でマウス左ボタンクリックするか印刷(L)ボタンを押すことにより印刷開始します。

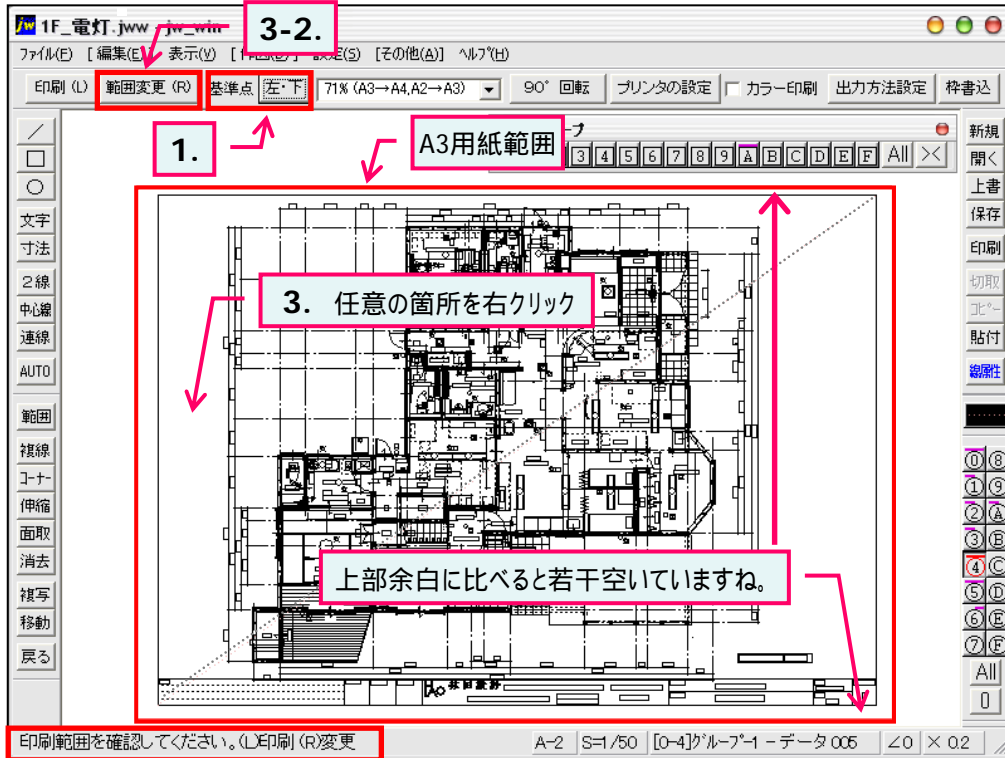
💡 左図では図面全体が印刷範囲内に納まっていますが、複数枚になる図面や関連業者から受け取ったデータによっては、ずれている場合が少なくありません。

複数枚でも上下・左右の余白が揃った、プリンタ用紙の中心に図面が印刷できるよう「印刷範囲の変更」を次項で見いきましょう。

7-3(1). 用紙範囲(印刷範囲)の再設定-1

印刷する用紙の中心に図面が印刷できるよう「印刷範囲」の再設定を行います。

用紙範囲の基準点変更と固定されている用紙範囲を移動できるようにします。



左図でも用紙範囲(印刷範囲)に対して図面枠の上下余白が違いますね。1枚の場合でしたらこの程度だと、そう気にならないのですが複数枚の場合は全枚数統一させたいですね。

1. 用紙範囲の基準点を変更します。

ボタンをクリックすることにより左・下 中・下 右・下 左・中 中・中 右・中 左・上 中・上 右・上 左・下...と変化します。

「中・中」を選びます。

用紙範囲と基準点位置の関係は左下図参照。

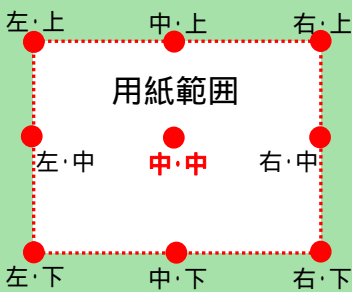
2. ステータスバーに表示されているヒントを確認。
3. 図面上の任意の箇所をマウス右ボタンでクリックします。「(R)変更」

A3用紙範囲(赤線枠)が1.で設定した基準点を元にマウスで移動できるようになります。

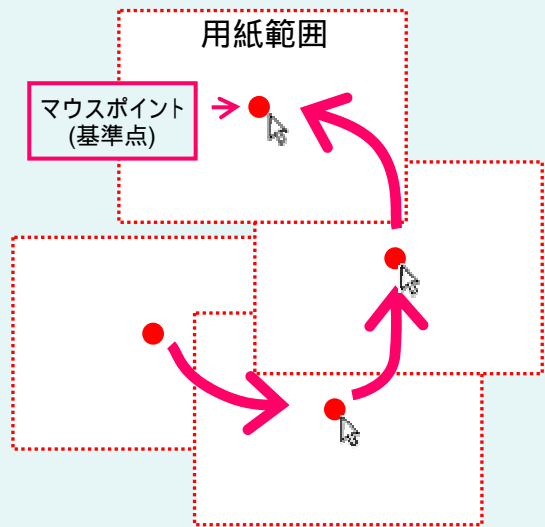
💡 「3-2」箇所の「範囲変更(R)」ボタンでも3.の手順と同様に印刷範囲が移動できるようになります。

次項へ続きます。

用紙範囲と基準点の関係



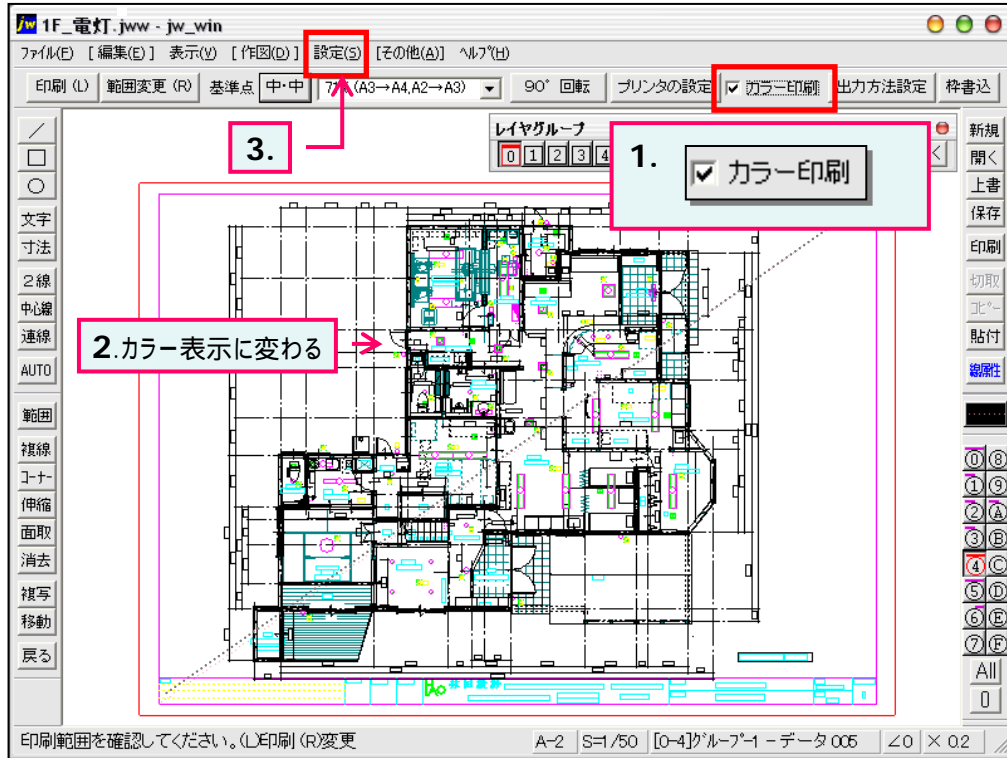
2. 又は2-2の範囲変更を選択することで、マウスを動かすと1.で選択した基準点を元に用紙範囲(印刷範囲)が自由に動くようになります。



7-4. 補足(線幅・カラー印刷他)

印刷時の線幅・線色(カラー印刷)の設定。

カラー印刷を行いたい場合や線幅・線色の変更方法を見ていきます。



1. 「カラー印刷」にチェックを入れます。
2. 左図のように印刷イメージがカラー表示されます。
3. 線幅やカラー印刷時の色を変更したい場合は「設定(s)」「基本設定(s)」の順にクリックしていきます。
4. 下図のように環境設定ウィンドウが表示されますので、「色・画面」タブをクリックして設定画面を表示させます。
5. 各ボタンを押して印刷時の線色を選択できます。
6. 数値入力により印刷時の線幅を指定できます。



💡 環境ファイルの設定方法は「2-1～10」で詳しく説明しています。

各ボタンを押すと「色の設定」ウィンドウが表示されます

「線属性」で表示される「線色1～8」と対応